



長瀬町議会議長
染野 光谷

年頭のあいさつ



長瀬町長
大澤 タキ江

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げますとともに、日ごろから町議会に対しましてご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年は4月30日に今上天皇陛下の退位式と5月1日に皇太子殿下が新天皇陛下に即位し、新元号が施行されるという歴史的に大きな変革を迎えるにあたり、新たな時代に期待を寄せているところであります。

さて、少子高齢化社会の進行をはじめ、社会経済情勢が大きく変化する今日、地方公共団体を取り巻く環境は厳しさを増しております。このような状況にありながらも、効率的な行政運営を進め、若者の定住促進、社会福祉や教育の充実、地域産業の活性化など、複雑多岐にわたる課題に対応する必要があります。

私ども町議会は、皆様一人一人の声に耳を傾け、町政を取り巻く環境の変化を的確に捉えながら、議員一人ひとりがその責務を自覚し、議会活動に邁進するとともに、魅力ある町づくりに向けて、誠心誠意努めてまいり所存でございます。

今後とも信頼され期待される議会を進めてまいりますので、よりいっそうのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年の年頭に当たり、新しいこの1年が町民の皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、ご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より町行政に対し深いご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

平成最後となる1年、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。江戸時代後期以来200年ぶりに天皇陛下が退位され、平成は30年という歴史の幕を閉じることとなります。今後、新しい元号に変わり、時代の流れが良い方向に向かっていくことを期待しているところでございます。

今年は、ラグビーワールドカップ2019が熊谷市で開催され、また、2020年東京五輪まであと1年となる年でもあり、世界中から日本が注目されることと思っております。これを機に、世界の人々にも是非とも長瀬町へ観光に来ていただき、自然豊かな町の良さを知っていただけるよう、アピールして参ります。

また、今年4月に「(仮称)長瀬地区公園」がオープン予定でございます。小さなお子さんからご家族までたくさんの方々のふれあいの場となるよう整備を進めて参ります。

依然として、厳しい財政状況ではありますが、「第5次長瀬町総合振興計画」を基本指針に掲げ、町民の皆様が長瀬町に誇りを持てるよう、また、「住みやすい町」と思っただけけるよう、職員一丸となって「少子高齢化・人口減少」など、様々な行政課題に真摯に向き合っている所存でございます。今後も長瀬町の発展のため、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びにあたり、町民一人一人がご健勝にてお過ごしいただけますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



さいとうひでお 副町長に齊藤英夫氏が就任

昨年の12月議会定例会において、齊藤英夫氏(61歳 本野上)が議会の同意を受けて、副町長に選任されました。任期は、平成31年1月1日から4年間となります。

なお、前副町長の平 健司たけし氏は、平成23年1月1日から平成30年12月31日までの長きにわたり、町政進展のためご尽力いただきました。